

日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第 21 期 143 号

会報



総主題

「キリストにつながる喜び」－祈りあい、支えあう－

2011. 10. 15

発行 日本福音ルーテル
教会女性会連盟
〒169-0072 東京都新宿区
大久保 1-14-14
発行者 谷口 美樹
編集者 竹森 洋子
印刷 平山印刷出版

主題聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。ヨハネ 15 章 5 節－

あなたとつながる



十字架の神が共におられる喜び

日本福音ルーテル岡山教会
日本福音ルーテル高松教会
日本福音ルーテル松江教会

牧師 高村 敏浩

「キリストにつながる喜び」というテーマは、今年の福音の日課であるマタイによる福音書によく合致し、特に相応しいのではないだろうか。なぜなら、キリストにつながるということは、神が私たちと共におられるということだからです。マタイによる福音書は、その最初（1:23）に「インマヌエル（神は我々と共におられる）」を、そしてその最後（28:20b）に「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」という約束を配しています。そしてその間に挟まる部分でも、神が私たちと共におられるということを用いた様々な形で語りま

す。しかし今日、特に3月11日から始まった東日本大震災の一連の被害の中にあつて、福島原発の事故とその影響の中にあつて、私たちはもしかしたら、キリストにつながる喜びということにさえも、疑問を感じ、戸惑いを覚えているかもしれません。人間として、そこに喜びを、また意味を見出せない苦しみを生きている方もおられるでしょう。私たち人間の思いは、あまりにも脆く、また不確かです。しかし、私たちの神は、たとえ私たちが神を感じられず、また神と一緒にいたくないとさえ思うときでも、すぐ傍らにいて、つながっていただく、その思いは、どのようなときであつても変わらず、私たちと一緒にいたいという強いものです。私たちではなく、神が、決して変わらない思いをもつて私たちと共にいたいと望んでおられます。神はいつも私たちと共におられます。しかし特に、私たちの心と思いが揺らぎ、孤独しか感じられないとき、神が私たちと共にいてくださるという約束が、決して違えられないものであることを、十字架は私たちに確信させてくれます。たとえ今感じることができなくても、振り返つてそのつながりを感じ、そこに喜びを見出すときが来ます。